

第1回 葵が丘小学校運営協議会

日時 令和8年4月24日(金)

14:30~16:30

会場 葵が丘小学校 多目的室

〈次第〉

開会 開催要件(委員の過半数の出席)確認 〈司会:教頭〉

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 新規委員任命書の交付(机上配付)
- 4 学校運営協議会規則の確認(教頭)
- 5 自己紹介(各自)
- 6 前回の会議録の確認(教頭)
- 7 議長の選出(会長)
- 8 熟議 〈議長: 〉
 - (1) 学校運営の基本方針について(校長)→熟議により承認
 - (2) 葵が丘小学校いじめ防止基本方針について(校長)
 - (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書及び「夢育やらまいかCS加算分」予算案について(教頭)
- 9 報告 〈司会:教頭〉
 - ・ あおいっ子スマイルサポーター活動計画(学校支援コーディネーター)
- 10 連絡〈司会:教頭〉
 - (1) 参観会や行事の参加について(教務)
 - (2) 令和8年度自己評価表の作成について(教頭)
 - (3) さくら連絡網登録(閉会后 未登録者のみ)
 - (4) 次回以降の予定について(教頭)

○第2回 令和8年 6月18日(木) 15:00~16:30

○第3回 令和8年11月20日(金) 15:00~16:30

○第4回 令和9年 2月12日(金) 15:00~16:30

閉会



第1回 学校運営協議会出席者名簿

学校運営協議会委員

| | |
|--------------------|--------|
| 会長 | 小栗 則利 |
| 副会長 | 桐村 哲雄 |
| 委員 学校支援コーディネーター | 見野 泰弘 |
| 委員 | 田村 都弥 |
| 委員 | 伊藤 謙吾 |
| 委員 | 柳澤 照美 |
| 委員 | 齋藤 美代子 |

オブザーバー

| | |
|----------|-------|
| 北部協働センター | 嶋田 哲也 |
|----------|-------|

学校支援コーディネーター

| | |
|--|-------|
| | 西原 真知 |
| | 吉田 里美 |

学校

| | |
|----------|-------|
| 校長 | 小山 貴広 |
| 教頭 | 土屋 里佳 |
| CS担当教職員 | 杉山 瑛一 |
| CSディレクター | 村上 朝香 |



はままつの教育
「描く夢や未来の実現」
主体性
多様性・包摂性
信頼・協働

学校教育目標

未来にかがやく！あおいっ子

開成中学校区の
目指す子供の姿
○正しい判断が
できる人
○地域を愛する人
○自分や周りの人を
大切にする人

あおいっ子宣言

①いさつは ころを こめて ②お もいやり あふれる ③いっしょうけんめい やりぬく

学校経営
の重点

感じ・考え・行動する

子供も
大人も



なぜだろう？
どうしたい？

どうしたらできるか
だれと協力しようか

やってみよう
ふりかえろう



「だれもが、しあわせになる」～Well Being～

学びを楽しむ

対話・協働

- ・自分なりの方法で話す、伝える
- ・よく聴き他の意見を大切にする
- ・基礎学力を身につける
- ・授業、家庭学習での ICT 活用

しなやかな心

自分も大切 みんなも大切

- ・自分を客観的に見つめる
- ・多様な人、考えを受け入れる
- ・心の自己調整力を育てる

挑戦する勇気
やりとげる根気

好き・得意を見つけ伸ばす

- ・葵チャレンジ 子供主体の活動
- ・話し合い・学級活動の充実
- ・つながり広がる活動に

ICT 正しく活用

- ・発達段階に応じた情報モラル
- ・ICT の技能向上 効果的な活用
- ・生活に正しく生かす

すこやかな体 安心・安全な生活

- ・葵チャレンジ 主体的に取り組む体力づくり
- ・心身の健康への関心をもち続ける
- ・安全意識を自分ごとに・現実に即した安全指導・訓練

ともに歩む
大人の姿

ていねい あったか あんしん



学校・教職員

個の強みを生かす
学びたくなる授業
あたたかい支援
高い規範意識
伝え合い支え合う組織
業務の効率化 AI の活用

学校運営協議会
コミュニティ・スクール

地域との熟議
サポーターとの連携・協力
大人から学ぶ・場から学ぶ
子供から大人への働きかけ

保護者
地域

情報発信・共有
対話・相互理解
地域活動への児童参加
地域の人たちとの連携

学校教育目標 「未来にかがやく！あおいっ子」

- ・未来の自分のために、今できることは何だろう
- ・未来にかがやくのは、どんな自分だろう

あおいっ子宣言

あいさつは ころをこめて

だれとでも、明るく心のこもったあいさつをします

おもいやり あふれる

人への思いやり、助け合い、ゆずり合いの気持ちを大切にします

いっしょうけんめい やりぬく

強い心を持ち、どんなことにも全力で取り組みます

1 浜松市の教育

- (1) 第4次浜松市教育総合計画「描く夢や未来の実現」
「主体性」 「多様性・包摂性」 「信頼・協働」

| | |
|--|---|
| <p>○目指すこどもの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさを大切にすること ・他者と協働し、 主体的に行動できるこども ・自己調整しながら、 粘り強くとりくむこども | <p>○目指す教職員の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの自分らしさを 受け止める教職員 ・愛情と情熱、規範意識を 持ち続ける教職員 ・専門性と指導力を磨き続ける教職員 |
|--|---|

| | |
|--|--------------------------------------|
| <p>方針Ⅰ 自分や浜松の未来を創る人づくり</p> <p>政策1 未来の創り手に求められる力の育成</p> <p>政策2 多様なニーズに対応した学びや支援の充実</p> | <p>教育DXの推進</p> <p>教育データの 利活用</p> |
| <p>方針Ⅱ 安全・安心で魅力ある環境づくり</p> <p>政策3 「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上</p> <p>政策4 安全・安心に学べるより良い教育環境の整備</p> | |
| <p>方針Ⅲ こどもの学びや育ちを支える連携・協働</p> <p>政策5 こどもの学びや育ちを支える連携・協働</p> | |

- (2) 中学校区で目指す子供の姿

- 正しい判断ができる人
- 地域を愛する人
- 自分や周りの人を大切にする人

2 学校経営の重点

「感じ・考え・行動する」 ～子供も大人も～

Well being の合言葉

『だれもが しあわせになる』

【「学校経営の重点」の設定理由】

本校の子供は、明るく、元気で、人懐こく、学校全体の雰囲気も明るい。楽しいこと、やってみたいことには生き生きと取り組むことができる子供が多い。また、発達支援学級、外国人支援、ことばの教室、校内学びの教室など、様々な居場所があり、子供たちもその多様性を当然のこととして受け入れて生活している。CSの支援により、多くの大人と関わる環境も整えられている。

一方で、そのような環境が与えられることが当然であり、受け身になってはいないだろうか。自ら学びや生活をよりよくしていこうと考え行動できる子供の姿は見られるだろうか。本校に限った傾向ではないが、他者との関わり方が上手でない、自分を客観視できない、周囲に目を向けられない、衝動的な行動をしてしまう、根気強さに欠ける、自分事として責任を持たない、そんな子供たちの姿が見られる。これは大人も同様である。

「主体性」とは、自ら行動するだけでなく、その過程や結果に自らが責任をもつことである。『感じる』（なぜだろう？どうしたい？）→『考える』（どうしたらできるか だれと協力しようか）→『行動する』（やってみよう）→『ふりかえる』→『感じる』（なぜだろう？）…のループを繰り返しながら、楽しい学びやよりよい生活を子供も大人も築いていきたい。

3 目指す子供の姿

「学びを楽しむ」（学び 授業）

- ・自ら学びに向かい、「分かった」「楽しかった」と言える。
- ・子供が自分なりに伝え、聴き、共に知恵を出して課題を解決する。
- ・基礎学力を向上させる（指導法改善、ICT活用等）

「しなやかな心」（德育）

- ・自分を見つめる目、客観的にとらえる力をもつ。
- ・自他を大切にし、多様性、多文化を受け入れる心を育む。
- ・心の自己調整力を育むため、自他を見つめる体験（SST等）を積み重ねる。
- ・発達支援教育の理念を念頭に、個に応じた支援を進める。

「挑戦する勇気・やりとげる根気」（特別活動）

- ・子供自身が「好き」「得意」を見つけ伸ばす。

- ・「葵チャレンジ」を軸に、子供が主体的に遊びやイベントなどを計画・実施していく。
- ・子供が自ら選択して活動（ぴかぴか清掃等）に取り組む。
- ・話し合い活動、学級活動を子供が主体的に進めていく。
- ・学級から学年、学校へと活動をつなぎ広げていく。

「すこやかな体」「安心・安全な生活」（体育 保健安全）

- ・「葵チャレンジ」を軸に、子供自らが日常的な体力づくりに取り組む。
- ・心身共に健康な生活への関心、実践力を身につける。
- ・安全な生活のためのルールとマナーを身につける。
- ・現実に応じた安全指導を行うことで、自分事としてとらえる。

「ICT正しく活用」（教育DXの推進）

- ・情報モラル教育を推進する。
- ・思考、表現ツールとして活用する。
- ・タイピングなどの技能を学年に応じて育成する。
- ・タブレット持ち帰りを日常化し、生活ツールの一部とする。

4 ともに歩む大人の姿 『ていねい あったか あんしん』

(1) 教職員

- 「個の強みを生かす」
 - ・いろいろな子供がいるように、いろいろな先生がいる
 - ・目指す方向は同じくし、自分の個性、強みを生かしていく。
- 「学びたくなる授業」
 - ・子供が学びたくなる授業のために、様々な方法を学び、また自ら創造し、挑戦してみる。
 - ・実践は成功も失敗も共有していく。
- 「あたたかい支援」
 - ・子供へのあたたかな眼差し、声掛けを通して信頼を築く。
 - ・「あなたはどうしたいの」「あなたはどう思うの」子供の思いを受容する心を持ち続ける。
- 「高い規範意識」
 - ・自らの指導、発言に主体性と責任を持ち続ける。
 - ・公私ともに、不祥事はあってはならない。
- 「伝え合い支え合う組織」
 - ・情報交換、思いの共有を日常的にできる組織であり続ける。
 - ・「お互い様」の気持ちで暖かい職員集団であり続ける。
- 業務の効率化・AIの活用
 - ・導入されたAIの活用に挑戦し、業務効率化の可能性を探る。

(2) 保護者・地域

- ・保護者が学校と手を取り合って子供を育てていけるよう、教職員は保護者との信頼を積み重ねていく。
- ・学校と地域、保護者の役割を互いに認識できるよう情報発信、対話を進め、相互理解を深めていく。
- ・地域の活動が盛んな地域柄であることから、子供たちに地域への愛着をもたせ、地域活動への参加を促していく。

(3) 学校運営協議会 コミュニティ・スクール

- ・学校運営協議会では、学校運営や目指す子供の姿について提案し熟議を行う。
- ・学校支援コーディネーターを中心に、サポーター等様々な大人が関わる活動を積極的に取り入れる。大人から与えられるだけでなく、子供から大人に対して、知りたいことややりたいことを提案したり、地域のために活動したりできるような姿を目指していく。

5 業務量管理・健康確保措置の実施について

給特法改正により、「業務量管理・健康確保措置」の実施が義務付けられた。(令和8年4月1日施行) 学校の働き方改革を進めるために、学校、保護者、地域等の業務分担の在り方についてより具体的に協議し推進していくとともに、保護者や地域住民の理解を深めることが求められている。

(1) 労働時間管理

- ・やりがいを感じられる、仕事を楽しめる環境づくり
- ・時間外在校等時間 45時間→30時間にするための方策を模索する。
- ・個人のタイムマネジメント力向上の方策を試行する。

(2) 業務量管理

- ・子供の満足感を大切にしつつ、教師の負担感を軽減する。そのために子供の主体性を育て、委ねられる範囲を広げていく。
- ・日課、行事等の精選を図ってきた。その効果を検証し続け、年度途中においても可能な部分を改善していく。
- ・コミュニティ・スクール、地域との協働は進んでいる。さらに学校の業務について地域、保護者の理解を図っていく。

(3) 業務の効率化

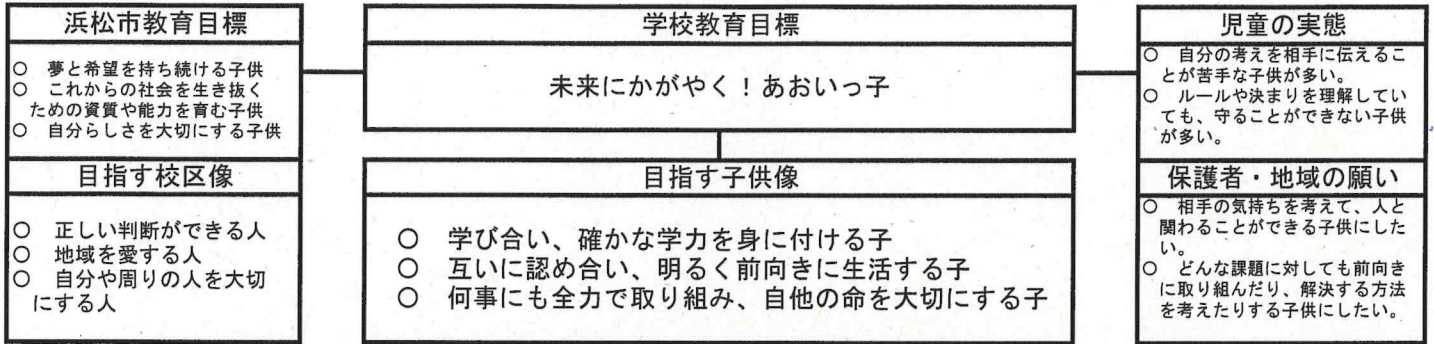
- ・T-portの可能な範囲での効率的な使い方を模索する。
- ・生成AIを使い、教材や資料の作成に挑戦する。可能なものはすぐに実用化していく。
- ・先行事例を学んで本校の業務効率化に生かす

令和8年度日課表

浜松市立葵が丘小学校

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 特日課 | 特日課 給食なし |
|---|--|--------------------------------|--|--|--|---|
| 8:00~8:20 朝読書(10分程度) 朝の会 | 8:00~8:20 朝読書(10分程度) 朝の会 | 8:00~8:20 朝読書(10分程度) 朝の会 | 8:00~8:20 朝読書(10分程度) 朝の会 | 8:00~8:20 朝読書・情報スキル 朝の会 | 8:00~8:20 朝読書(10分程度) 朝の会 | 8:00~8:10 朝の会 |
| 8:20~9:05 1 | 8:20~9:05 1 | 8:20~9:05 1 | 8:20~9:05 1 | 8:20~9:05 1 | 8:20~9:05 1 | 8:10~ 8:55 1 |
| 9:15~10:00 2 | 9:15~10:00 2 | 9:15~10:00 2 | 9:15~10:00 2 | 9:15~10:00 2 | 9:15~10:00 2 | 9:05~ 9:50 2 |
| 20分休み | 20分休み | 20分休み | 20分休み | 20分休み | 20分休み | 10分休み |
| 10:20~11:05 3 | 10:20~11:05 3 | 10:20~11:05 3 | 10:20~11:05 3 | 10:20~11:05 3 | 10:20~11:05 3 | 10:00~ 10:45 3 |
| 11:15~12:00 4 | 11:15~12:00 4 | 11:15~12:00 4 | 11:15~12:00 4 | 11:15~12:00 4 | 11:15~12:00 4 | 10:55~ 11:40 4 帰りの会含む |
| 12:00~12:45 給食 | 12:00~12:45 給食 | 12:00~12:45 給食 | 12:00~12:45 給食 | 12:00~12:45 給食 | 12:00~12:45 給食 | 11:50 下校 |
| 12:45~13:15 ロング昼休み 1年 13:00~13:10 帰りの会 13:10下校 | 12:45~13:05 昼休み 13:05~13:15 清掃 移動 | 12:45~13:15 ロング昼休み 移動 | 12:45~13:05 昼休み 13:05~13:15 清掃 移動 | 12:45~13:15 ロング昼休み 移動 | 12:50~13:00 帰りの会 下校 13:00 13:05~13:50 5 | |
| 13:25~14:10 5 | 13:25~14:10 5 | 13:25~14:10 5 | 13:25~14:10 5 | 13:25~14:10 5 | 13:25~14:10 5 | 13:55下校 14:00~14:45 6 |
| 14:15~14:25 帰りの会 | 14:15~14:25 帰りの会 | 14:15~14:25 帰りの会 | 14:15~14:25 帰りの会 | 14:15~14:25 帰りの会 | 14:15~14:25 帰りの会 | 14:50下校 |
| 14:20~15:05 6 | 14:20~15:05 6 | | 14:20~15:05 6 | 14:20~15:05 6 | 14:20~15:05 6 | 委員会活動(特5) 14:00~14:45 下校14:50 クラブ活動(特4水曜日) 13:10~14:10 下校14:15 |
| 15:10~15:20 帰りの会 2年 14:25下校 3年以上 15:20下校 | 15:10~15:20 帰りの会 1・2年 14:25下校 3年以上 15:20下校 | 14:25下校 | 15:10~15:20 帰りの会 1・2年 14:25下校 3年以上 15:20下校 | 15:10~15:20 帰りの会 1~3年 14:25下校 4年以上 15:20下校 | 特5 13:55下校 特6 14:50下校 | |
| 持参 ・上靴 ・給食白衣 ・赤白帽子 | | | | 持ち帰り ・上靴 ・給食白衣 ・赤白帽子 | | |

葵が丘小学校 キャリア教育全体計画



| 本校のキャリア教育の全体目標 | | | |
|---|---|---|--|
| 人との触れ合いを通して、よりよい人間関係を築き、夢や希望を持って生活しようとする態度や意欲を育てる。 | | | |
| 育成すべき能力や態度(基礎的・汎用的能力) | | | |
| 人とかかわる力 (人間関係形成・社会形成能力) | 自分を見つめる力 (自己理解・自己管理能力) | 課題を解決する力 (課題対応能力) | 未来につなげる力 (キャリアプランニング能力) |
| ○ 他者の個性を理解する力 ○ コミュニケーションスキル ○ チームワーク、リーダーシップ | ○ 自己の役割理解 ○ 前向きに考える力、動機付け ○ 忍耐力、主体性 | ○ 課題発見、計画立案、実行力 ○ 情報の理解・選択・処理能力 ○ 評価と改善 | ○ 学ぶこと、働くことの意識・役割の理解 ○ 多様な生き方の理解 ○ 選択・行動、軌道修正する力 |

| 各学年の重点目標 | |
|---|---|
| 低学年 ○ 友達の気持ちを考えて関わろうとすることができる。 ○ 自分の好きなことを見付け、得意なことを増やすことができる。 ○ 学習の基礎基本を身に付け、めあてをもって活動に取り組むことができる。 ○ 学習や当番、係活動などの必要性や大切さに気付くことができる。 | 中学年 ○ 友達の気持ちを大切にすることができる。 ○ 自分のよさや伸びを見付け、自分らしさを生かして行動することができる。 ○ 学習の仕方を身に付け、自分なりのめあてをもって課題に取り組むことができる。 ○ 学ぶこと・働くことの意義や役割を理解し、自分にできることを考えることができる。 |
| 高学年 ○ 友達の気持ちや考えを理解して関わり合うことができる。 ○ 自分の長所や短所を見つめ、自分を高めようとする目標をもって生活することができる。 ○ 進んで課題を見つけ、計画を立て、解決に取り組むことができる。 ○ 社会における様々な生き方を理解し、自分らしい生き方について考えることができる。 | |

| 教科・領域等における指導内容 | | | | | | |
|---|--|---|--|---|---|--|
| 各教科 | 道徳 | 特別活動 | | | 総合的な学習 | その他 |
| ○ 学習の基礎基本を身に付け、学ぶ意欲を高める。 ○ 体験的な学習や問題解決的な学習を通して、学習課題を設定し課題解決をする能力を育てる。 ○ 意見を聞き合い、学び合う態度を育てる。 | ○ よりよい生活習慣を身に付け、きまぐれを守ろうとする態度を養う。 ○ 思いやりの心を持ち、互いに信頼し協力し合おうとする態度を養う。 ○ 働くことの意義を理解し、奉仕する喜びを知り、社会に役立つ態度を養う。 | 学級活動 ○ 学級や学校生活の向上、健全な生活態度の育成を図る。 ○ 学級の一員として自分の果たす役割の認識を深める。 ○ 個人や学級の課題に対し、意見を出し合い解決する力を育てる。 | 学校行事 ○ 体験的な活動を行い、学級や学校への所属感を高める。 ○ 集団生活における望ましい態度やよりよい生活態度を育てる。 ○ 学習の成果を発揮し、学校生活に充実感と達成感を持たせる。 | クラブ活動 ○ 共通の目的意識を持って、自発的・計画的に活動することの達成感を味わわせる。 ○ 地域の人材・素材等を活用しながら社会性を高める。 ○ 個性の伸長と人間関係の大切さを学ばせる。 | ○ 自然体験や社会体験を通じて豊かな感性と表現力を育てる。 ○ 進んで人と関わり、コミュニケーション能力を高める。 ○ 自ら学ぶ意欲と課題を見付け追求し、やり遂げようとする態度を育てる。 | ○ 縦割り活動を通して、異学年同士の関わりと働くことの意義を学ばせる。 ○ 外国語科や外国語活動を通して日本と外国の言語や文化を理解し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 ○ 社会教育施設や地域の施設を活用し体験的活動を充実させる。 |

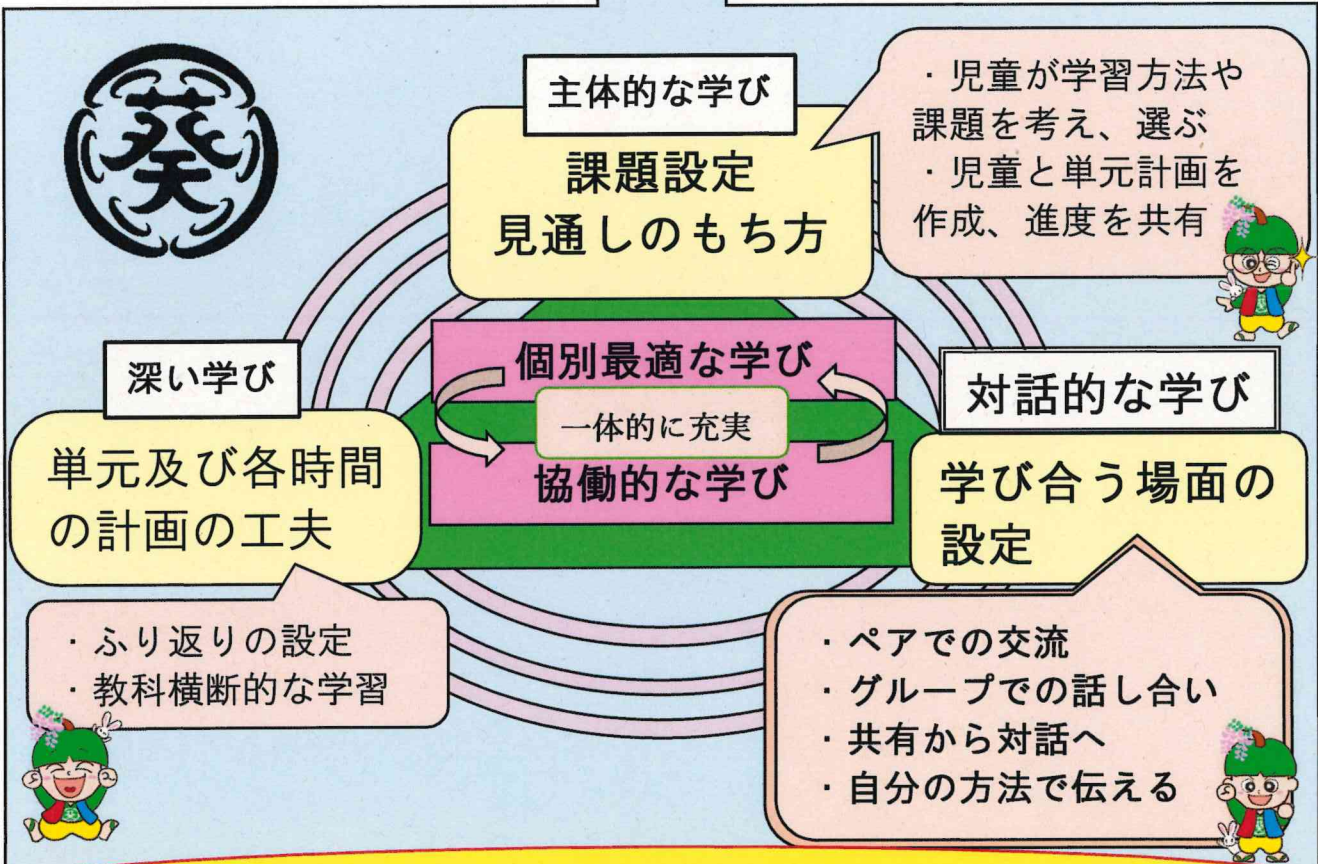
※キャリアパスポート

学習、行事、体験活動などに対する活動内容の記録や振り返りを行い、ファイルにまとめていく。一年間の振り返りや六年間の振り返りを行い、次の学年や学校に向けた希望や夢をもたせていく。

学校教育目標
未来にかがやく！あおいっ子

学校経営の重点 感じ・考え・行動する ～子供も大人も～

研究テーマ 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善
～対話的で協働的な学びを目指して～



- 【正しく活用するICT】
- ・ 発達段階に応じた情報モラル教育
 - ・ 生活に正しく生かす
 - ・ ICTの技能向上及び効果的な活用
- 【よりよく学ぶ・楽しく学ぶ】
- ・ 学習権の保障
 - ・ 学習の自己調整
 - ・ 学びの基礎基本の定着
 - ・ よく聴き、他の意見を大切にする

「学ぼう！ふるさと葵が丘」の活用

| 学年 | 教科 | 単元名 | 学ぼう！ふるさと葵が丘 | ページ |
|-------------|-----|---|---|--|
| 1年 | 生活科 | 「なつがやってきた」「いきものとなかよし」 「たのしい あき いっぱい」 | 「緑のネットワーク」 | p10・11 |
| 2年 | 生活科 | 「どきどきわくわくまちたんけん」 | 「高丘葵地区のまちなみ」 「緑のネットワーク」 「高丘葵地区のモニュメント」 | p8・9 p10・11 p12・13 |
| 2年 | 生活科 | 「もっとなかよしまちたんけん」 | 「2年 生活」の活動 | p23 |
| 3年 | 総合 | 「すてきだよ ぼくらの町」 | 「校歌からの学校の歴史」 「葵が丘の歴史年表」 「児童数の移り変わり」 「高丘葵地区のまちなみ」 「緑のネットワーク」 「高丘葵地区のモニュメント」 「今の地図・昭和37年の地図」 「地域を学ぶ」 | p2・3 p4・5 p6・7 p8・9 p10・11 p12・13 p14・15 P22・23 |
| 3年 | 社会科 | 「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」 | 「戦後の開拓の歴史」 | p16・17 p18・19 |
| 4年 | 社会科 | 「きょう土の伝統・文化と先人たち」 | 「戦後の開拓の歴史」 | p16・17 p18・19 |
| 5年 | 総合 | 「未来を想像しよう～より良い暮らしのために～」 | 「葵が丘小の環境施設」 | p20・21 |
| 5年 | 社会科 | 「環境を守るわたしたち」 | 「葵が丘小の環境施設」 | p20・21 |
| 6年 | 社会科 | 日本史のいろいろな場面で | 「葵が丘の歴史年表」 | p4・5 |
| あおい 生活単元 | | 「みんなで公園へ行こう」 | 「緑のネットワーク」 | p10・11 |
| あおい 3年 | 社会科 | 「学校のまわり」 | 「今の地図・昭和37年の地図」 | p14・15 |
| あおい 3年 | 社会科 | 「昔の道具」 | 「戦後の開拓の歴史」 | p16・17 p18・19 |